

2021年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）総会

議事要旨

日程：2022年3月16日（水） 13：30～15：10

会場：オンライン総会

会員数：684（2022年3月1日現在）

出席会員数：442（うち、委任状による出席 277）（2022年3月16日 08:30現在）

議案

第1号議案	2022年度会長選出について（協議）	（資料1）
第2号議案	2022年度監事選出について（協議）	（資料2）
第3号議案	2022年度運営委員会委員について（協議）	（資料3）
第4号議案	会費規程の2022年度特例措置について（協議）	（資料4）
第5号議案	JAIRO Cloudを共同リポジトリとして利用する場合の会費等に関する細則の改正について（協議）	（資料5）
第6号議案	JPCOAR活動方針（2022-2026年）について（協議）	（資料6）
第7号議案	2022年度活動計画について（協議）	（資料7）
第8号議案	2022年度予算について（協議）	（資料8）

報告

- 1) 2021年度活動について（報告）（報告1）
- 2) 2021年度決算（経過報告）（報告2）
- 3) 次期 JAIRO Cloud（WEKO3）への移行について（報告）（報告3）

議事：

議事に先立ち、木下運営委員会委員長（東京大学附属図書館事務部長）から、「オープンアクセスリポジトリ推進協会会則」（以下「会則」という。）および「通常総会の電子的な通信並びに記録手段を用いた開催に関する細則」（以下「細則」という。）に基づくオンライン会議として、2021年度通常総会を開催するとの報告があり、総会開会要件の確認と、総会が成立している旨報告があり、開会が宣言された。

引き続き、オープンアクセスリポジトリ推進協会会長（立教大学図書館）の森聡美図書館長から開会挨拶があった。

1. 議案

1) 2022年度会長選出について（協議）

木下運営委員会委員長から、会則第6条に基づき、資料1により会長として、青山学院大学図書館の推薦があった。出席会員からの質問はなかった。

2) 2022年度監事選出について（協議）

木下運営委員会委員長から、会則第7条に基づき、資料2により監事として、東京海洋大学附属図書館および福岡女子大学附属図書館の推薦があった。出席会員からの質問はなかった。

3) 2022年度運営委員会委員について (協議)

木下運営委員会委員長から、資料3に基づき、以下の説明があった。出席会員からの質問はなかった。

- ・継続予定の委員が人事異動等により継続困難となった場合、運営委員会において後任候補を選定し、会則第10条の第2項及び第4項の規定に基づく文書による臨時総会で審議する。

4) 会費規程の2022年度特例措置について (協議)

吉田委員から、資料4に基づき、2022年度においても2021年度と同様に、なお情勢の見通しが不透明な状況が引き続いているとし、2021年度特例措置を据え置く形で2022年度限りの「会費規程の2022年度特例措置」の提案があった。なお、2021年度特例措置は2021年度末で廃止されるとの補足があった。出席会員からの質問はなかった。

5) JAIRO Cloudを共同リポジトリとして利用する場合の会費等に関する細則の改正について (協議)

吉田委員から、資料5に基づき、共同リポジトリでのJAIRO Cloud特別料金の請求先および納入者に関する規定の整備のため、改正するとの説明があった。出席会員からの質問はなかった。

6) JPCOAR活動方針(2022-2026年)について (協議)

木下運営委員会委員長から、資料6に基づき、「JPCOARオープンアクセスリポジトリ戦略2019～2021年度」(以下「戦略」という。)の終了年度にあたり、次期中期戦略タスクフォースを設置し、新たに「オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)活動方針(2022-2026年)」をとりまとめ提案するとし、ビジョン、活動方針、重点活動項目の3つのミッション(コミュニティ、コンテンツ、システム)及び作業部会構成の説明があった。出席会員からの質問はなかった。

7) 2022年度活動計画について (協議)

木下運営委員会委員長から、資料7に基づき、JPCOAR活動方針(2022-2026年)に基づく、ミッションおよび作業部会の2022年度活動計画(案)の説明があった。出席会員からの質問はなかった。

8) 2022年度予算について (協議)

吉田委員から、資料6および参考資料1に基づき、JPCOAR会計処理にかかる基本方針(機関経理、単年度予算、収支均衡)の説明および予算案の各事項について説明があった。出席会員からの質問はなかった。

2. 報告

1) 2021年度活動報告（報告）

高橋委員から、報告1)に基づき、組織・体制、会議（総会、運営委員会）および戦略に基づく作業部会等の活動報告があった。また、JPCOARの活動を支える作業部会員への職員参加に積極的に支援をお願いしたい旨補足があった。出席会員からの質問はなかった。

2) 2021年度決算（経過報告）

吉田委員から、報告2)および参考資料1に基づき、経過報告があり、4月以降に収支が確定したのち監事監査を経て、決算として臨時総会で審議される予定との補足があった。出席会員からの質問はなかった。

3) 次期JAIRO Cloud (WEKO3) への移行について（報告）

林委員から、報告3)に基づき、これまでの経緯、動作検証および本番移行時期の2022年度への延期について報告があり、引き続き、以下の質疑応答（事前質問を含む）があった。

- ・次期JAIRO Cloud (WEKO3) の見通しとスケジュールについてはいかがか。
NIIとしてユーザ目線での動作検証の強化を含むソフトウェア品質向上のためのさらなる対策を行うべきと判断し、品質評価後の移行を決定した。品質管理体制の構築も含めて、計画を進めている段階であり、現時点では、移行開始時期をお伝えすることができない。おおまかなスケジュールも同様である。具体的にご報告できるようになった段階で、あらためて情報を提供させていただきたい。
- ・WEKO2からWEKO3へのデータの移行で不具合があるのか？それともWEKO3そのものにおいても不具合がみられるのか？
データ移行ではなく、WEKO3の機能に不具合がある。
- ・WEKO2はNetcommons2(NC2)のサービスが終了しているのでセキュリティの問題があると考えられるがいかがか。
安心してご利用いただけるよう、現行のJAIRO CloudでもWAFの適用等、引き続きセキュリティ対策は実施していくので、ご理解いただきたい。
- ・機関リポジトリへの論文の登録の練習やメタデータのデータベース作成のためにクラウドとつながっていない練習用のWEKO3のメタデータ入力画面などの提供をお願いしたい。
入力画面の提供については、JPCOARとも相談し、検討を行う。
- ・研究データに関するDataCiteDOIの付与のために必要なメタデータや研究データ登録のためにクラウドとつながっていない練習用のWEKO3のメタデータ入力画面などの提供をお願いしたい。

DOIについては、2021年6月にJPCOARサイトで公開された、IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン:JPCOARスキーマ編 ver.1.2を参考にしていきたい。

入力画面の提供については、JPCOARとも相談し、検討を行う。

- ・いくつかの機関が先行してWEKO3へ移行済と伺っているが、先行機関では基本的な機能面でのバグ等の問題は発生していないのか

先行移行機関、先行環境提供機関には、移行および動作検証にご協力いただいている。現在提供している環境は、今回リリース判定で検証した版より以前のものとなっており、不具合を含んだ版となっている。現在、リリース判定に使用した版をベースに先行移行機関、先行環境提供機関に提供する準備を進めている。

3. その他

議案・報告の終了後、オンライン投票手順の説明を行った。

議長から、議事終了の発言があり、引き続き、会長から、2021年度総会はすでに成立しており、細則第5条の延長は実施せず、議決権行使の期限は、3月16日24時で変更しないと決定する旨、発言があった。

以上